

議 長	<p>続いて、高良議員の一般質問を行います。1番高良議員。</p>
1番 高良議員	<p>皆さん、おはようございます。1番議員の高良でございます。</p> <p>この度の一般質問を通告書に従いまして、「子育て支援について」、お伺いをしていきたいと思っております。</p> <p>現在、子育て支援については、厳しい財政状況の中で可能な支援が実施されております。ただ現在、行われている支援は、近隣市町村に比べ、不十分だとの指摘があり、より一層の支援策の充実が求められておるところであります。この度は、少し視点を変えまして、子育て費用の支援ではなく、子供達本人への支援として、学ぶ環境の整備、能力の向上に結びつく施策が必要ではないかと思ひ質問致します。現在、行われている学ぶ環境の整備、能力の向上に結びつく施策と、今後、実施予定の施策を問うものでございます。</p>
議 長	<p>高良議員の「子育て支援について問う」に対する答弁をお願い致します。番外谷川教育課長。</p>
番外谷川教 育課長	<p>それでは高良議員の「学ぶ環境の整備、能力向上に結びつく施策と今後の予定について」という事でお答え致します。</p> <p>子ども達の学びの基本は、先ず家庭にあると考えております。次に、子ども達それぞれの発達・発育の段階や個々の状況に応じて、学校や地域社会等、関係する個人や機関が深く関わっていく事になります。子ども達が秘めている多様な可能性や能力を如何に伸ばしていくのかが、家庭を含め社会全体の大きな責務であると考えております。</p> <p>小学校、中学校それぞれに、教育目標を掲げ子ども達の学びに取り組んでいるところです。子ども達が、落ち着いて学習に取り組めるようにする為に、一つの取り組みとして小学校・中学校共に毎朝、朝読書の時間が設けられています。又、読書が生活や学習上に果たす有効性が広く言われており、島根県もこの点に着目し「調べ学習図書の実践」、更には学校図書館司書の配置などを積極的に行っております。学校図書館司書については、県の助成等を活用しながら、その役割の重要性を認識し、積極的に配置を行っています。</p> <p>又、川本町で育つ子ども達の為に現在取り組んでいる、学びの環境等について申し上げますと、通級指導教室の開設、ALT（外国語指導助手）の積極的な活用、ニコニコサポート事業の導入、小学校への学習支援員の配置、積み重ね学習の必要な教科について、個別対応が有効な指導につながる場合には、TT（複数教師）による授業の推進、特別支援学級への生活支援員の配置、派遣指導主事の配置による教職員への指導並びにサポート、教育相談の充実、アンケートQU（学級生活満足度・学校生活意欲度）によるクラス状況の確認と活用、ふるさと教育事業の導入、環境教育推進のための事業導入、家庭学習による学習習慣の定着の推進のための家庭学習の手引きの作成、</p>

番外谷川教
育課長

子ども達の体力向上事業として「みんな元気な かわもとっ子 プロジェクト」によるトップアスリート^{しょうへい}招聘、子ども達に夢を持つことの大切さや自ら夢について考えるための夢センセイ事業等々を通じて、様々な角度から子ども達の学びに繋がるように学校現場共々努力しているところです。

又、今後実施予定の施策については、第5次総合計画を一つの母体としながら、進む少子化による子ども達を取り巻く環境変化等に適宜対応しながら、学校への支援と学校外で可能な支援に取り組んで行く予定です。直近での具体的な取り組みとしては、この冬休みを利用して島大教育学部の学生さんにより、小学生から高校生までを対象にした勉強会の開催を予定しております。

又、現在既に取り組んでいますが、放課後を活用した体力向上への取り組み促進等の事業も継続しながら、高校、大学とも連携し、支援を得ながら取り組んでいく予定にしております。以上です。

議 長

ただいまの答弁対しまして、再質問はありますか。1番高良議員。

1番
高良議員

たくさん現状でもされているところでございます。何故このような質問をするかと言いますと、子育て支援は、次の社会を担う子どもの成長を、社会全体で応援する施策を取るという事でございます。子育て支援に関する経済的負担の軽減策や、安心して子育てが出来る環境の整備を推進するものでございます。本町におきましても、先ほど2番議員さんの質問にも有りましたように、現在、第3子以降の保育料の無料化、未就学児童の医療費の無料化等も行われております。ただ、周辺自治体に実施されている支援に企画すると今一步である事も事実でございまして、子育て中の親にとりましては、せめて近隣自治体と同じような支援が受けられないかと切望している訳ではございますが、先ほどありましたように25年度の予算において保育園の第2子の無料化、或いは中学生までの医療費の無料化に取り組んでいただけたという事をお聞きしました。確かに子育て費用を少しでも軽減し、子育て世代の負担を軽くして子どもの数を増やしたいという事は重々良く分かる事ではございますが、現在、費用負担のところにおいても母子保険事業の中で母子手帳の交付から始まりまして、あと妊婦健康診査とか乳幼児児童相談、産婦新生児訪問、乳幼児健康診査といろいろされております。又、ジフテリア、百日ぜき、破傷風の三種混合ワクチン、風しん、日本脳炎等、又、BCGの各種予防接種、ピフワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン等の各種ワクチンの接種も法改正があった関係上、今、川本町からの費用の支出になっていると思います。妊婦健康診査につきましては、多少補助があるように聞いております。このようにその保育料の無料化とか医療費の無料化に特化されやすいわけではございますが、それ以前に多数の費用負担が川本町から出ている訳でございまして、子育て費用というのは確かに軽くしていただいて、親の負担を軽くし、少しでも子どもが増えるような施策という事でやっていこうという意図は十分に分かりませんが、こういう施策は最終的に

1 番
高良議員

は、簡単に言えば子育て費用を全部無料にして下さいというところへ行き着くのではないかなと思います。こういう事で近隣の自治体と「隣がどうだからこうだ、こちらがどうだからこうだ」という事でそれに併せて費用負担を競って出し合うというような方向になりますと、とても本町のような財政基盤の弱い町村は太刀打ち出来るものでもなく、何と云うか見劣りするか最後にはこういう負担合戦には負けてしまうという事実になろうかと思えます。町長の行政報告にもありましたように、川本町は今現在、大変厳しい財政状況でございます。そこで私が思いますに、そういう費用の負担合戦ではなく、少し視点を変えまして子供達が直接受けられる環境の整備の方へ少し考えを持っていった方が良いのかなという思いがありましたので、こういう質問を致しました。現在、子どもの環境整備と言いますか、子どもの直接携わって支援をいただいている事がございます。サポートセンターにおきましては「いいお顔の広場」や「ひまわりサロン」、「チャレンジ学級」、或いは放課後の居場所等の施策がされているところでございます。ただこのような施策は他の町村でもされております。本町では更に独自の施策を行う必要があるのではないかなと思います。子どもの頭は大変柔軟で吸収力は目を見張るものがあります。この事を考慮し、子どもの可能性を延ばす支援を財政力を伴わない本町が如何にして果たしていくかは、皆様の英知を結集し対応していく必要があるところだと思います。そこで、私が先ず思う事は先ほど読書を勧めているという事でございますが、私も全く同じ思いでございます。先輩の皆様方の知恵を租借し吸収し現代に生かす事は子どもに限らず大人にも求められているところでございます。このような英知の結集である書物に接する事は、子供達に取りましても感性・情緒・情操と進む心の発達や、知識・見識と進む知力・行動力を得る事に繋がるものと考えます。将来この川本町を後世に引き継いでより発展させていただく為にも、是非、学び取って欲しい力があります。本町の読書環境及び読書施設は保育園、小中学校図書室、かわもと図書館と設けられております。ただ現在、読書に関して先ほどありましたが朝の読書等で調べ学習等で小学校の方でもされている事は重々承知しておりますが、現在の読書教育は保育園では保育所の皆さんの読み聞かせ等で、たくさんの本を読む週間で小さい時からつけていただいております。又、小学校では学校の図書室におきましても、今年3月の統合によりまして旧川本小学校・川本西小学校・三原小学校が合併した関係上、図書室の本の蔵書も大変増えまして、生徒に対する図書の充足率が151%ぐらいになりましたが、ただその中には棄損が激しい本がたくさんあり、6月でしたか保護者も参加致しまして本の整理をしたようなところでございます。川本中学校は生徒数に対する図書の充足率は70.4%と現在不足しております。現況は以上のような通りであります。先ずこの現況を見まして急ぐ必要がある事は川本中学校の図書の不足分の解消であります。川本中学校においては、かわもと図書館との距離がある事や部活などのため、かわもと図書館の閉館時間に生徒が間に合わないという事がございます。又、休日も部活動でなかなか

1 番
高良議員 図書館の利用が進んでいないのが実情でございます。以上の事を考えますと川本中学校の図書館の図書が不足が急がれるのではないかとと思いますが、今後そのような事を進められる考えがあるかどうかお聞きします。

議 長 ちよつとすみません、答弁の前に連絡事項がありますので。

番外東間総務課長 北朝鮮のミサイルが発射されたという事で、ちよつと町内に防災無線で流しますので、ちよつとしばらくお待ち下さい。
(総務課長・・・議場退席)

議 長 ちよつと総務課長が席を外しますのでご了解下さい。

々 ただいまの答弁について、番外谷川教育課長。

番外谷川教育課長 仰ったように中学校は若干、まだ標準図書数に達していないのが現実であります。これも十分認識しておりまして、計画的に図書については予算要求して整備していく予定にしております。

議 長 再質問ありますか。1 番高良議員。

1 番
高良議員 これは中学校の方からも出来るだけ早くしていただきたいというようなお話を伺っておりますので、許す限り早急な対応をお願い致します。
次に「子供達の可能性を伸ばしていく」という事でございますが、子供達が持っている夢や希望を叶えるために必要なものとして、先ず第1番に学力の向上を、より一層はかっていく必要があるのではないかとと思うところがございます。小中学生の学力の向上の支援として思うところは、現在はDVDやインターネットを利用した学習教材もたくさんあります。特にその中でもDVDによる教材は、かわもと図書館への収蔵も可能だと思っておりますので、例え禁退出でも結構ですので、かわもと図書館の方に一度にという事にはいかないと思いますが、少しずつでも揃えていただいて、現在、図書館にあるDVDの視聴機器がございますので、それを使用して図書館で勉強できるような機会があれば少しは役に立つかなと思うのですが、そういう事は可能でしょうか、お聞きします。

議 長 番外谷川教育課長。

番外谷川教育課長 そこら辺は学校と十分協議しまして、有効である教材、或いは視聴覚の媒体として図書館で購入出来るものについては購入出来るものと思っております。

議 長 再質問ございますか。1 番高良議員。

1 番
高良議員

購入出来るようであれば少しでも購入していただいて、なるべく利用を促進していただきたいと思います。今はDVDの視聴機器は小学生がそこに行っているいろいろなアニメとかその手のDVDを視る事にしか、どうも使われておられないような気が致します。是非、進めていっていただきたいと思います。

又、長い目で見れば、先ほど小中一貫教育も含めて検討するという町長の答弁がございましたが、小中一貫教育も1つ、又、公的補助がある学習塾等の設置も必要ではないかなと思っているところでございます。町長さんの方は学習塾の関係者の方ともお知り合いのようでありますので、そういう事も念頭においていただきたいと思います。このように述べますのは、これは単に今の学校教育が劣っているとかそういうような事で申している訳ではございません。ここではなかなか気付かないところではございますが、都市部の子供達は幼少の頃より塾通いと言いますか塾にたくさん通っておられます。それは何の為かと言いますと、来るべき受験にというものに備えている訳でございませぬ。田舎においては、なかなかそういう危機感が伝わってきませんが、有名私立高校や或いは大学進学となりますと、例えこの田舎で育とうが幼少の頃から塾通いして、その詰め込まれてきた子供も同じ条件で今の制度で受験しなければなりません。そういう事は必ず来る事は確かな事でございますので、その時に子供達が自分の夢を果たすため、又、自分の希望する事が出来るように少しでも子供達の可能性を伸ばしていき、又、伸ばせるような環境を作っていく事は親の世代の責務であると思うところでございます。この川本町の将来を背負って将来を立っていただく子供達に対して、少しでも可能性を広げ、その能力を伸ばしてもうらうためにも小中学校の学力向上、又、先ほどありました島根中央高校への支援へという町長の答弁の中にもありましたが、小中学校で学力を伸ばしていただいて中央高校へ本町の場合は大部分が進学しておりますので、それを通して島根中央高校の進学率への向上へ少しでも繋がっていけば、又、島根中央高校の存続という問題に対しても少しの希望でも広がるのではないかと思っております。今の川本町の財政状況は非常に厳しいものがあるという事は重々承知しておりますが、他の自治体と同じ事をしていても、この川本町が埋没しているような気が致します。川本町の独自の施策を打ち出していただいて、子育て世代がより魅力を持って川本町を見るというような環境、或いは町外から川本町には良い施策があるから、あそこで子供を育てたいという事で、子育て世代の転入が進むような施策を講じていただきたいと思っております。先ほど2番議員さんの答弁で町長の方から子育て支援はこういう事に力を入れていくんだという力強い発言をいただきましたので、これを必ず他町村に遅れる事のないように力強く進めていっていただきたいと思っております。

もう1点ですが、今、川本町の中で公園がたいへん不足しております。子育て世代にとりまして、今は冬でこうやって雪も降りますのでそうは思いませんが、春から秋にかけての間は子供は外で遊びたがりますし、又、連れて出なければいけません。そういう時にこの川本町は現在、公園が三島に都市

1 番
高良議員 公園として小さいのがございますが、なかなか子供はあの程度では満足しませんので、どこか余所へ行きたがります。現在、我々親の世代が連れて行っている所は、美郷町の「ゴールデンユートピアおおち」、江津市の「菰沢公園」、「アクアス」の裏の公園、それと大田市の「サンドミュージアム」の裏の公園等へ遊びに連れて行く訳ですが、川本町におかれまして、そのような公園整備を安くは出来ない事は重々承知しておりますが、将来に向けて、そのような公園整備の計画が有るかどうかを最後にお伺いしたいと思いません。

議 長 番外長田地域整備課長。

番外長田地域整備課長 高良議員の「公園整備の計画について」お答えをしたいと思います。現在、川本町では質問の中にありました「三島の都市公園」、それから「因原公園」、「金比羅山^{こんびらやま}児童公園」、一応3つの公園を都市公園という形で管理しております。ご質問にありましたように財政的にも厳しい状況の中、もう維持管理で精一杯なような状況でございます、今のところ新たに公園を整備する計画は今のところございません。

議 長 再質問ございますか。1 番高良議員。

1 番
高良議員 今のところ公園を整備する予定は無いという事は分かりました。では維持管理という事でちょっとお伺いしますが、「三島の都市公園」については現状で何ら問題は無いと思えます。「金比羅^{こんびら}公園」の上のブランコですが、あれは使っても現在よろしい状態でしょうか、お伺いします。

議 長 番外長田地域整備課長。

番外長田地域整備課長 ブランコにつきましては、毎年、点検を実施しておりますので、使っても大丈夫な施設でございます。

議 長 1 番高良議員。

1 番
高良議員 使っても宜しいという事ですが、現在、使えない状況です。ブランコの後ろにツツジの木が植わっておりまして、ブランコをこぐと、そのツツジの木が背中に突き刺さります。この辺の管理をその使う身になって本当に使って宜しい物だったら使えるような状態で管理をしていただきたいと。あのツツジも植えた時には小さかったんでしょう。年月が経ってあんなに大きくなったものだとは思いますが、もう少し小さいところにしっかり気配りをしていただいて、今後やっていただきたいなと思うところでございます。以上で、この質問を終わります。

議 長 以上で、「子育て支援について問う」の質問を終了致します。

々 これをもちまして、高良議員の一般質問を終了致します。

々 ここで暫時休憩を致します。
あちらの時計で40分より会議を再開致します。

(午前10時29分)